

3年

わたしの大好きな河辺先生

愛知県 蒲郡北部小学校 洞田 莉瑚
指導者 伊藤 知夏

わたしは、小さいころからぜんそくと食物アレルギーで、入いんばかりしていました。もう二十回ぐらい入いんしています。だから、びょういんへ行くことも、ぜんぜんこわくないし、ちゅうしゃもへいきです。わたしのたんとうの先生は、河辺先生といいます。目がねをかけていて、ちょっとムスツとした、顔をしています。わたしのお兄ちゃんの時からみてくれていて、もう十四年もわたしたちの事を、みていてくれています。

わたしは、この河辺先生が大好きです。

理由は、やさしくて、おもしろいからです。先生と話をすると、わらえてきます。お母さんが、「りこは、あんまり食べもんでこまっちゃう。」と、先生に言うと、「おれも、ねぎとか野さいは、きらいだでもいいぞ。ねぎなんか、人間の食うもんじゃねえ。」と、言うのでお母さんは、「先生おいしやさんだもんで、何でも食べんといかんぞっていつてくれんとダメじゃん。」と、言います。わたしは、そう言うへん事を言うところが、おもしろくて好きです。

わたしが運動で、やりたい事があると言うと「いいぞ。何でもやってみろ。」とおうえんしてくれたり、バレエの発表会のしゃしんを見せると、「ずつとつづけとるのか。えらいなあ。すばらしいなあ。」と言って、ほめてくれます。そんなところも大好きです。

前にすごくひどいぜんそくで、みんながあわててた時も、「大じょうぶだぞりこ。ゆっくり息をして、らくになるからなあ。」と、安心させてくれます。わたしの、体の事を一番わかってくれるんだなあと思います。ぜんそくとアレルギーがなおるまで、ずっと河辺先生がいいなあと思います。これだけびょういんに通っていると、いろんなことをおぼえたり、かんごふさんから、いろんなことを教えてもらったりします。そうしているうちに「わたしもびょういんではたらきたいなあ。」と思いました。それで「河辺先生のようにになりたいなあ。」と思うようになりました。この前河辺先生に「わたし河辺先生のあとをつぐで。」って言ったら「それは、ありがたい。早くついでくれ。りこみみたいな人が先生になれば、ぜんそくの子や、食べれない子の気持がよくわかっていいなあ。」と言ってくれました。お母さんは、「おいしやさんになるなら、めちやめちやべん強せんといかんだよ。算数がきらいだなんていつとれんよ。」と言ってきました。だから、

わたしは、算数をできるようにになって、もっともっとべん強しようと思いました。

わたしが、おいしゃさんになるまで、河辺先生には、がんばっておいしゃさんをつづけていてほしいなあと思います。わたしもがんばって、ぜんそくをなおして、じょうぶな体になって、たくさんの子どものびょうきをなおせるおいしゃさんになれるようがんばります。いつか、河辺先生といっしょにおしごとできたらいいです。